

「のぞみ 22 号」の車両不具合について

2023 年 2 月 16 日、東海道新幹線・小田原駅～新横浜駅間で発生した当社所属車両の不具合により、新幹線をご利用の多くのお客様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

1. 発生日時

2023 年 2 月 16 日（木）15 時 02 分頃

2. 発生場所

東海道新幹線 小田原駅～新横浜駅間

3. 列車名

のぞみ 22 号（N700 系 16 両編成）

博多駅（10 時 39 分）発 東京駅（15 時 36 分）着、ご乗車のお客様：約 950 名

4. 概 況

15 時 02 分ごろ、「のぞみ 22 号」が速度 267km/h で走行中、運転台モニターに異常表示（バランス異常）を認め、停止しました。その後運転士による当該箇所の床下点検を実施し、台車枠の外観上に亀裂等がないことを確認したため、小田原駅まで移動し、ご乗車中のお客様は後続列車にお乗り換えいただきました。

当該車両はその後、東京仕業検査車両所へ回送しました。

※車両が脱線する恐れはありませんでした。

※「バランス異常」とは、1 両に 4 か所ある空気ばねの圧力バランスに異常がある状態です。

2017 年 12 月に発生させた新幹線重大インシデントにより、台車枠に亀裂が入った際にバランス異常が発生するという知見を得たため、その異常を検知する機能を整備しました。

5 調査内容

車両所での点検において、台車枠の亀裂など、新幹線の走行安全上の重大な不具合は認められませんでした。その他の装置を調査した結果、8 号車の「自動高さ調整装置（別紙参照）」に不具合を認めました。この装置の不具合により、8 号車空気ばねの圧力バランスが崩れ、異常を検知したものと判明しました。当該の「自動高さ調整装置」は交換し、取りおろした不具合品は、詳細調査中です。

6 対 策

緊急対策として同形式車両を対象に「自動高さ調整装置」の機能確認を速やかに実施し、同種事象の再発防止に努めてまいります。

【参考資料】 自動高さ調整装置について

